

# これからだ! その熱い気持ちで 復興のエンジン になる。



復興庁復興推進委員会 委員長  
公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構 理事長  
公立大学法人熊本県立大学 理事長  
**五百旗頭 真**  
(いおきべまこと)



関西大学  
社会安全学部准教授  
**永松 伸吾**  
(ながまつしんご)



釜石宝来館  
女将  
**岩崎 昭子**  
(いわさきあきこ)



(社)ソーシャルサイエンスラボ  
理事長  
**川井 徳子**  
(かわいのりこ)



おらが大樹夢広場  
事務局長  
**臂 徹**  
(ひじとふる)



三陸とれたて市場  
代表  
**八木 健一郎**  
(やぎけんいちろう)



岩手県知事  
**達増 拓也**  
(たつそたくや)



2つの震災の教訓を未来へ

## いわて三陸復興フォーラム

～つながりを力に～

2013.1.26(土) 14:00-17:10 関西大学 高槻ミュージックキャンパス ミュージックホール **定員:300名**

# 基調講演 「東日本大震災と復興」



復興庁復興推進委員会 委員長  
公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構 理事長  
公立大学法人熊本県立大学 理事長

## 五百旗頭 真 (いおきまこと)

政治外交史家。1943年、兵庫県生まれ。67年、京都大学法学部卒業。69年、同大学院法学研究科修士課程(政治学専攻)修了。広島大学助手・助教授を経て、神戸大学法学部教授。その間、ハーバード大学・ロンドン大学客員研究員、日本政治学会理事長などを歴任。2006年防衛大学校長に就任し、東日本大震災発災後は内閣府復興構想会議議長に就任。2011年文化功労者。現在、復興庁復興推進委員会委員長。公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構理事長。公立大学法人熊本県立大学理事長。神戸大学名誉教授。  
著書のうち、「米国の日本占領政策」「占領期―首相たちの新日本」「日米戦争と戦後日本」「戦後日本外交史」「歴史としての現代日本」がさまざまな賞に輝く。

# パネルディスカッション 「さあ前へ!! 暮らし興し・仕事興し・夢興し」



コーディネーター  
関西大学 社会安全学部准教授 永松伸吾 (ながまつ しんご)

1972年、福岡県北九州市出身。95年、中央大学法学部政治学科卒業。98年、大阪大学大学院国際公共政策研究科博士前期課程修了。2001年、大阪大学より博士(国際公共政策)を取得。02年から5年間にわたり、財団法人阪神・淡路大震災記念協会の「人と防災未来センター」専任研究員。09年から1年間、財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構の「人と防災未来センター」研究副主幹。10年4月から関西大学社会安全学部・大学院社会安全研究科の准教授として災害経済学を探索する。

## パネラー



釜石宝来館  
女将 岩崎 昭子  
(いわさきあきこ)

自らも津波に飲まれながら九死に一生を得、その後、近隣住民の避難拠点として建物を提供して獅子奮迅の働きをしたことはマスコミにも数多く取り上げられている。建物は大きな被害を受けたが、改装工事を経て2012年1月に再開。夕食後には、語り部としての役も担い、臨場感あふれる津波当日の話の後、「私はここでどっぶり海と生きる。人とのつながりで夢のある町作りをしていく」と、自らの復興構想についても語る。手探りながら前に歩みを進めるその姿に胸を熱くする宿泊客も多い。【岩手県釜石市】



(社)ソーシャルサイエンスラボ  
理事長 川井 徳子  
(かわい のりこ)

岩手県においては「いわて三陸復興食堂」を中心に、県内の「心の復興支援」「仕事へのモチベーションづくり」の活動を広域で展開、現在は大槌町の復興プロジェクトに関わっている。ノブレスグループの代表を務め、2011年10月不良債権物件を再生、経営する「ホテルアジュール・奈良」が「ミシュランガイド京都・大阪・神戸・奈良 2012」において、ホテルとして2つのパビリオン・マークを獲得。現在は、観光と不動産再生事業に軸足を置き、交流人口社会の創造を合言葉に、文化事業と地域の活性化、被災地の復興に取り組んでいる。【奈良県】



おらが大槌夢広場  
事務局長 臂 徹  
(ひじととおる)

1980年、群馬県伊勢崎市生まれ、群馬県立前橋高等学校卒業。筑波大学第三学群社会学類都市計画専攻卒業。筑波大学大学院環境科学研究所修了。都内にて建設コンサルタントとして6年間従事。東日本大震災で被災した岩手県大槌町の復興計画策定のため、現地入りし、大槌で出会った方々と住民主体でまちづくりを考え、実施する組織を立ち上げ、建設コンサルタントの職を辞し、事務局長に専任する。父方の祖母は岩手生まれ。【岩手県大槌町】



三陸とれたて市場  
代表 八木 健一郎  
(やぎけんいちろう)

北里大学水産学部卒業(岩手県大船渡市三陸町)。地元の漁業生産者(漁師)と全国の消費者をつなぐネット通販サイト「三陸とれたて市場」を運営。震災により、現地の事業所や設備などすべてを失う。震災直後の4月、越喜来の浜に刺し網を差し、震災後初の船上からのネット販売を行った。その後様々な支援の元、三陸漁業生産者組合の設立もサポート。さらに「漁師のおつまみ研究所」、「カキの観光番屋」などの設立・起業にも参画。第二のふるさとである大船渡市・三陸町でにぎわいある浜の再生に奔走する。【岩手県大船渡市】

## 全体スケジュール

- 10:00～12:00  
高校生・大学生による  
「共に学ぶ減災・命」の交流プログラム
- 14:00 開会
- 14:05 基調報告  
岩手県知事 達増 拓也
- 14:30 基調講演  
演題:「東日本大震災と復興」  
講師 五百旗頭 真
- 15:40 パネルディスカッション
- 17:10 閉会

## 模型を使って、震災当日の様子を再現。

宮古工業高校、舞子高校、関西大学の学生たちがプレゼンテーションを行います。

フォーラム開会に先立ち、宮古工業高校と神戸・舞子高校、そして関西大学・社会安全学部の学生たちによる交流プログラムを実施。宮古工業高校生徒が作成した津波模型を使用し、震災当日の様子を再現。実際に被災地を訪れた、舞子高校・生徒、関西大学・学生のレポートの発表など、「共に学ぶ減災・命」をテーマに、減災・復興についての意見交換を行います。



## 開催場所マップ



- JR東海道本線で「高槻」駅下車、徒歩約7分。
- 阪急京都線で「高槻市」駅下車、徒歩約10分。

定員

300名

締め切り

1月21日(月)【定員になり次第締め切り】

メールまたはFAXで受付の上、聴講券をお送りします。応募多数の場合は先着順となります。

問い合わせ

開催事務局: 岩手日報社広告局広告部「復興フォーラム係」TEL 019-653-4111へ

(9時30分～17時、土・日・祝日を除く)

申し込み

FAXの場合は、参加申し込み書に記入の上、FAX 019-626-1881 開催事務局: 岩手日報社広告局広告部「復興フォーラム係」へ。

メールの場合は、名前、郵便番号、住所、電話番号及び大阪会場参加と明記の上、fukkou@iwate-np.co.jpへ。

\*応募の個人情報は、岩手県及び岩手日報社が聴講券の発送、フォーラム受付のために使用します。

# いわて三陸復興フォーラム 参加申し込み書

(所属)

(氏名)

(職名)

(電話番号)

(郵便番号)

(住所)